

# 執筆要領

(平成30年 3月15日改正)

執筆に先だって、投稿規定およびこの執筆要領をよく読み、さらに最近の本誌を参考に、丁寧にわかり易い原稿を作成して下さい。

## 1. 現行は次の要領に従って記述する

### 1.1 和文原稿

横書きとし、ワードプロセッサを用いて作成する。Microsoft Wordの使用を推奨する。A4用紙縦置き、左詰め、1行35字程度、25行程度で作成する。余白は上下・左右とも30mm程度とし、余白にはページ番号及び行番号を記載する。

数字はアラビア数字、生物名の和名は片カナ書きで、学名はイタリック体で記述すること。

### 1.2 英文原稿

ワードプロセッサを用い、和文原稿と同様に記述する。数字はアラビア数字、学名はイタリック体で記述すること。

## 2. 原報文とノートは次の事項に従って記述する

### 2.1 体裁

#### (1) 和文原稿

最初のページの1行目に論文の種別(原報文、ノート)を明記する。表題、著者名、所属をそれぞれ和文と英文で、次いで和文要旨、英文要旨(abstract)、Key words、本文の順に記述する。

表題は具体的かつ簡単に論文内容を表すものとし、「〇〇に関する研究(第〇報)」や「Studies on」の表現は避ける。

英文要旨は200 words程度で記述する。またKey wordsは、他の研究者が検索する場合を考えて、最も適すると思われるもの5個以内を選び、英語で記述する。

本文は原則として、緒言(はじめに)、実験方法(実験材料並びに方法)、実験結果、考察、結論(まとめ)、謝辞、引用文献の順に分けて記述する。

#### (2) 英文原稿

論文の種別(Originals、Notes)を明記した後、和文原稿に準じて英文で記述する。日本語

の表題、著者名、所属および和文要旨は別途作成し、英文原稿に添付する。本文は原則として、INTRODUCTION、MATERIALS AND METHODS、RESULTS、DISCUSSION、CONCLUSIONS (SUMMARY)、ACKNOWLEDGEMENT、REFERENCESの順に分けて記述する。

#### (3) 責任著者 (Corresponding author)

論文の責任著者の右肩に\* (アスタリスク)を付ける。

### 2.2 本文の区分け

#### (1) 和文原稿

次の例に従って、和文原稿を区分けする。

(例)

#### 3. 考察

##### 3.1 クエン酸鉄(III)によるラン藻類の培養

##### 1) *O. tenuis* の培養

#### (2) 英文原稿

次の例に従って、英文原稿を区分けする。

(例)

#### MATERIALS AND METHODS

□□ Microorganisms □□ The cultures ...

↑

二字空白

↑ ↑

二字空白

書き出し

### 2.3 引用文献

引用文献は、本文中の著者名または事項の右肩に<sup>1), 2)</sup>、あるいは<sup>3)-5)</sup>のように順に付け、文末に番号順に列記する。

(例)

1) 中尾彰夫, 福島 博: 群集構造を解析する一方法, 日本水処理生物学会誌, 11 (21), 9-15 (1975)

2) Menhiniek, E. F. A.: Comparison of some species diversity indices applied to samples of field insects, Ecology, 45, 859-865 (1964)

3) 橋本 奨: バイオテクノロジー活用の高機能型活性汚泥法, 技法堂出版, 67-73, 東京 (1989)

## 2.4 図の作成

原則としてグラフィックソフトを使用し、ファイルの保存はMicrosoft PowerPoint形式の他、JPEG、EPS、TIFF形式で行う。各図を1枚の用紙（A4版）に作成し、欄外に必ず著者名と図の番号を記入する図のタイトルやシンボルの説明は別途、Figure captionに記述するので、ここでは不要である。

図は縮小されることを念頭におき、線の太さと字の大きさに十分に注意する。グラフの軸説明は英語で記述すること。図は不鮮明である場合や、線の太さや軸説明の英語が不明瞭である場合には、修正のため返却することがある。写真も図として取り扱う。

原則としてカラー印刷は行わないため、カラーの図や写真の投稿は避け、モノクロで鮮明に表示されることを確認する。

## 2.5 Figure captionの作成

Figure captionは本文の引用文献(REFERENCES)の次頁に記述する。図中のシンボル（○、●、△など）はここで説明する。

(例)

Fig. 4 Effects of nalidizic acid addition to viable cell counts on OD medium. Symbols: ○, *N. amarae*; ●, activated sludge.

## 2.6 表の作成

表はワードプロセッサやMicrosoft Excelなどの表計算ソフトを使用して、各表を1枚の用紙（A4版）に作成する。表の番号とタイトルは表の上に、また欄外には必ず著者名を記入する。

## 3. 総説、解説、資料の記述について

総説、解説、資料の記述は、特にその形式を定めないが、図表や文献引用は原報文やノートと同一とする。